

教科書の工夫と配慮

令和7年度版「きみが いちばん ひかるとき」は、生徒の主体的・対話的で深い学びが実現するよう、また、先生方の日々の授業をサポートすることができるよう、さまざまな工夫や配慮をしています。

年間の構成

教材と教材のつながりや、道徳の学びと生活のつながりを意識し、授業で考えたことが生徒のよりよい生き方に結び付く教科書を目ざしました。

その他、付録として小学校の道徳で学ぶ定番教材を掲載しています。



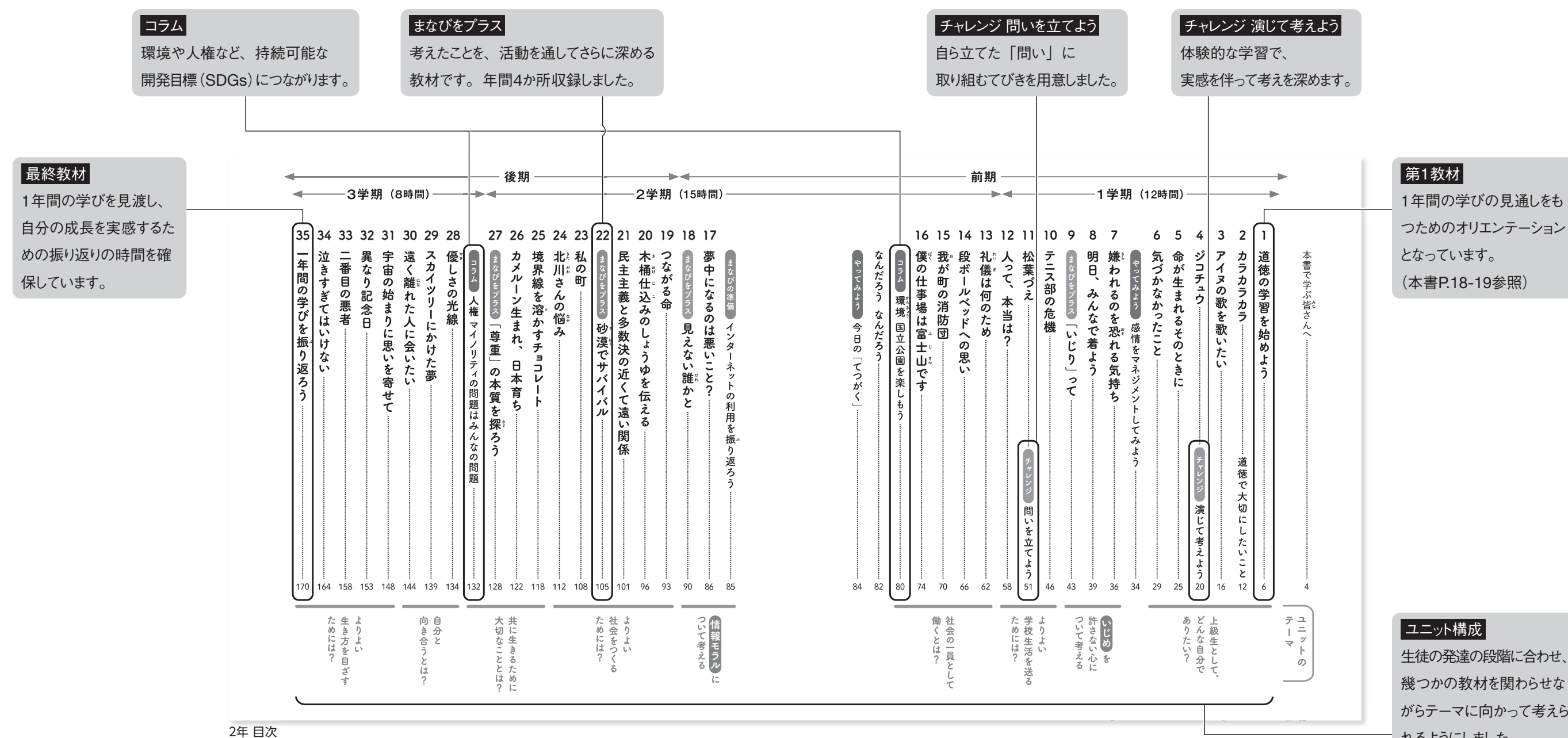
1年 p.172「付録 橋の上のおおかみ」



2年 p.174「付録 泣いた赤おに」



3年 p.174「付録 手品師」



道徳の学びを見通す工夫——第1教材

道徳科では何を学ぶのか、どのように学んでいくのか。生徒が主体的に学びに向き合えるよう、道徳を学ぶ姿勢をつくることのできる第1教材「1 道徳の学習を始めよう」を目ざしました。



2年 p.6-7「1 道徳の学習を始めよう」

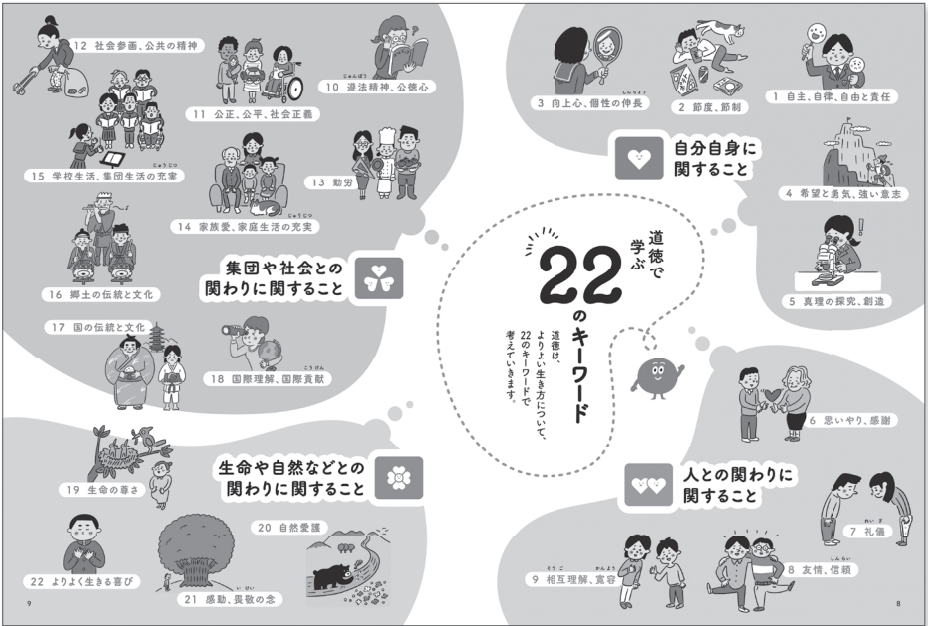
どのように道徳を学んでいけばよいのかを三つのポイントで示しました。

道徳科は、よりよい生き方について、「話して」「読んで」「演じて」「書いて」考えていくのだということを、示しました。



2年 p.10-11「1 道徳の学習を始めよう」

「道徳 道案内」では、1年間の学びを見通すことができます。教材名と共にキーワード（内容項目）を示し、どのような道徳的価値について考えを深めるユニットなのがひと目でわかるようにしました。



2年 p.8-9「1 道徳の学習を始めよう」

「道徳で学ぶ22のキーワード」では、よりよい生き方を考えていくためのキーワードとして、中学校で学ぶ22の内容項目を、生徒たちが親しみやすいイラストに言葉を添えて示しました。

道徳の学び方をおさえる工夫——道徳で大切にしたいこと

各学年の第2教材の後ろに、「自分に問う」「友達と問いつく」「生き方を問う」という三つの観点で、道徳の学び方を示しました。



3年 p.15「道徳で大切にしたいこと」

これまでの学びを振り返る工夫——最終教材

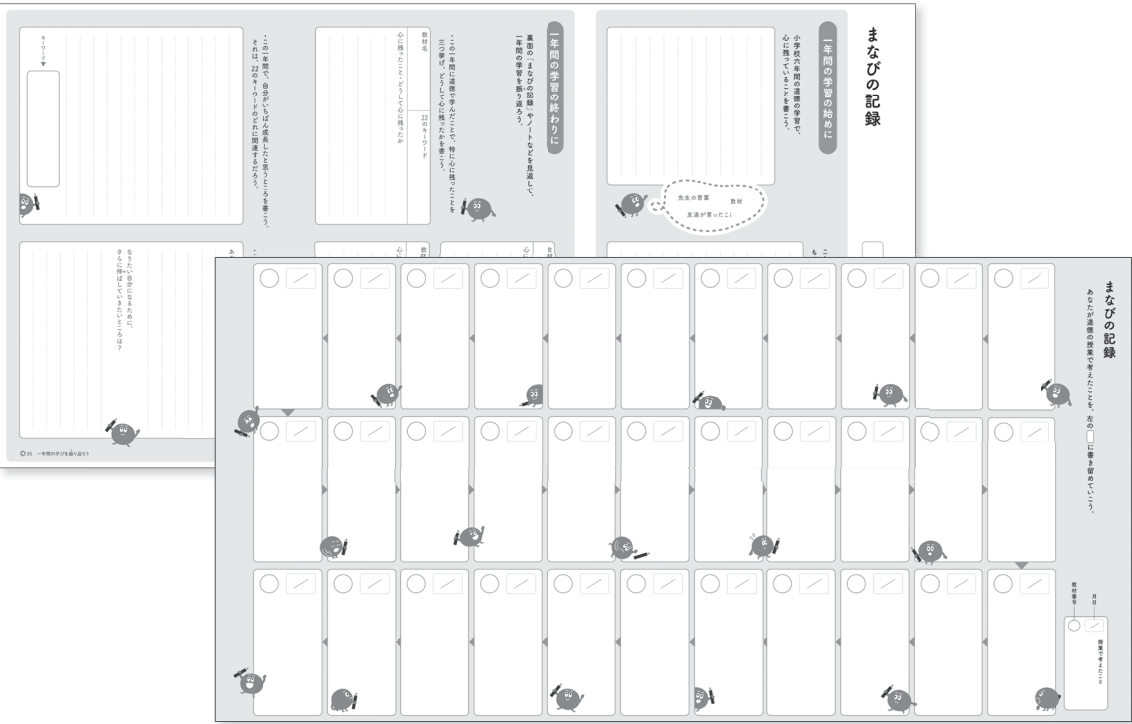
1年間の学びを振り返ることで、生徒が学んだことの価値を実感することができます。
最終教材「35 一年間の学びを振り返ろう」では、第1教材で初めに立てた目標を思い出し、道徳の学びが自分にとって、どのような価値があるものだったかを振り返ります。



1年 p.168-169「35 一年間の学びを振り返ろう」

1年間を見渡す工夫——まなびの記録

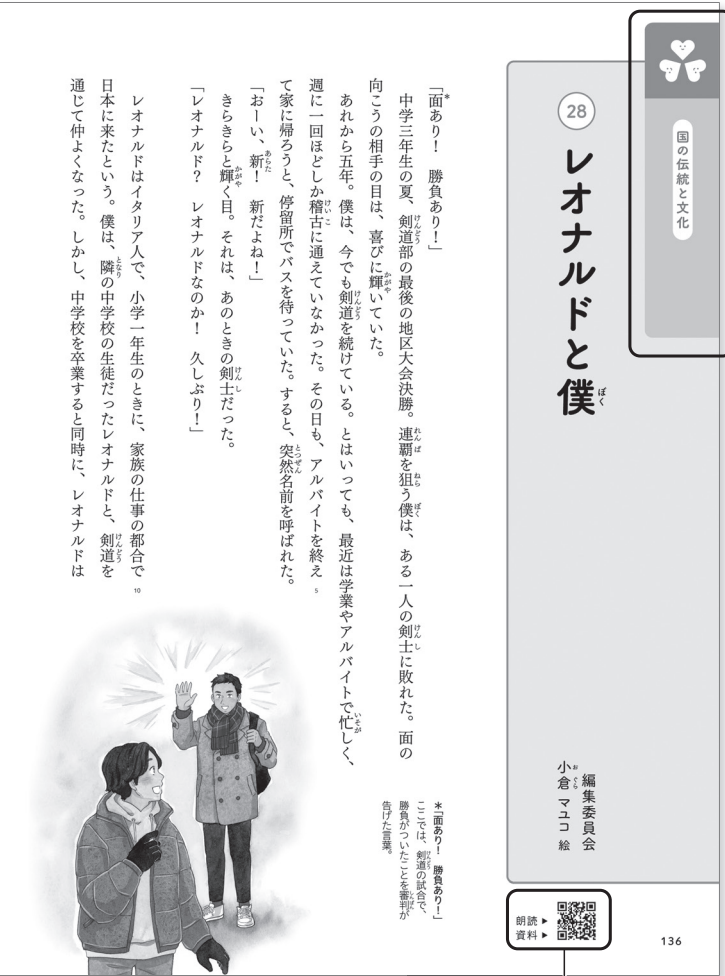
巻末に、日々の学びを記録できる、「まなびの記録」を設けました。1年間の学びを1枚で見渡すことができ、生徒の振り返りや、先生方の評価に活用することができます。



1年 巻末折込

教科書を活用するために——教材の構成

生徒が自ら、何を学ぶのかを意識し、主体的・対話的に学習に取り組める工夫を散りばめました。



1年 p.136「28 レオナルドと僕」

二次元コード
朗読音声や、教材の学習を深める資料をご用意しました。

内容項目の表示
A～Dの四つの視点と、第1教材の「道徳で学ぶ22のキーワード」と連動した、本教材で学ぶ「キーワード」(内容項目)を示しています。

 Aの視点 主として自分自身に関すること	 Cの視点 主として集団や社会との関わりに関すること
 Bの視点 主として人との関わりに関すること	 Dの視点 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

主体的・対話的で深い学びを実現する「てびき」を設けました。

考えよう（学びのテーマ）

教材を通して何を学ぶのかを意識できるよう、学びのテーマを明示しました。生徒の主体的な意見や、自由な発想を妨げるものがないよう配慮しています。

発問

二つの問いで構成し、発問の意図を明確にしました。

- ① 道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）
- ② 道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い（中心となる発問）

さらに、最後にもう一度、「考えよう」に掲げた学びのテーマに戻って、本時のまとめとして活用することもできます。

考えよう

伝統を受け継いでいくためには、
どんな考えが大切なのだろう。

- 「『危機』なんて、少し大げさ
なんじゃない？」という
言葉には、新のどんな
考えが表れているだろう。
- 新は、レオナルドのどのような
考え方に、「一本取られた」
気持ちになったのだろう。

見方を変えて

- 「それは、新たちの役目でしょ。」と
いう言葉には、レオナルドのどんな
考えが表れているだろう。

つなげよう

- あなたが、次の世代まで残したいと
考える日本の伝統文化は、何だろう。

美

178ページ「日本の郷土玩具」

と
思
っ
て
い
る
ん
だ。
僕
の
夢
は、
イ
タ
リ
ア
の
お
菓
子
に
和
菓
子
の
技
法
や
心
を
取
り
入
れ
る
こ
と
だ
よ。」

「え？ 日本の伝統文化を守ることじゃないの？」

「それは、新たちの役目でしょ。僕は、和菓子^{わがし}の技法や心をイタリアにもつて帰れば、イタリアの食文化はもっと豊かになると思ってるんだ。」

レオナルドの語る夢は、僕には遠いことのように思えて、よくわからなかった。でも、今回も、レオナルドに一本取られたような気がした。

発問の他にも、教材の内容に応じて、問いや呼びかけを提示しました。

見方を変えて

生徒が、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう、上の発問とは切り口を変えた問いを設定しました。

つなげよう

他教科や日常生活との関連、他教材との関連、関連する図書の紹介等を、教材の内容に合わせて示しました。



139

1年 p.139「28 レオナルドと僕」

「つなげよう」と連動して他の教材や付録などにつなげられる場合は、➡で教材名やページを示しています。

他の学習との関わりを示しています（ここでは美術科との関わり）。SDGsと関連の深い教材には **SDGs** を付けています。